

【子ども像】

知 自ら学び、よく考え、よりよく解決する子  
 徳 自分やまわりをみつめ、心豊かに生活できる子  
 体 心と体を鍛え、心身共に健全な子  
 公 「ひと」と「まち」とのふれあいを大切に、  
 共に生きる子  
 開 社会の変化に関心をもち、未来をみつめる子

【学校教育目標】

自分がすき  
 友だちがすき  
 まちがすき  
 進んで学ぶ  
 山田の子

【学校像】

笑顔にあふれ、充実感のある学校  
 信頼と協力のある学校

【教師像】

一丸となって連携しながら個々の力を  
 発揮し、組織を活性化する教師

カリキュラム  
 マネジメント

山田小学校の合言葉①

3つの力をのばそう！

やさしさ

まなびにおかうところ

たくましさ

年間指導計画の再編成  
 (6月～3月)

各プランの確実な取組

- ・学力向上アクション
- ・豊かな心の育成推進
- ・体育・健康

チーム学年経営

(一部教科分担制)

- ・学力向上(授業改善)
- ・児童の心の安定(複数の教職員の関わり)
- ・働き方改革

ICT活用

- ・ICTを活用した授業
- ・プログラミングの授業
- ・ICTを用いた発信
- ・環境整備  
 (GIGAスクール構想)

多様なニーズに応じた教育

- ・特別支援教育
- ・個別的教育支援計画・個別の指導計画

いじめの防止・早期解決

- ・児童アンケートの実施と対応

保護者・地域連携

- ・学校評価
- ・山田小まち懇
- ・東山田中ブロック学校運営協議会
- ・社会に開かれた教育課程

横浜市立山田小学校 令和2年度版 中期学校経営方針 (令和元～3年度)

学校教育目標	◎ 自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子 知 自ら学び、よく考え、よりよく解決する子を読みます。 徳 自分やまわりをみつめ、心豊かに生活できる子を読みます。 体 心と体を鍛え、心身共に健全な子を読みます。 公 「ひと」と「まち」とのふれあいを大切に、共に生きる子を読みます。 開 社会の変化に関心をもち、未来をみつめる子を読みます。					
学校概要	創立 49 周年	学校長 金森 孝子	副校長 稲吉 勝子	2	学期別	一般学級:17 個別支援学級:2
	児童生徒数: 508 人	主な関係校: 東山田中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間育てる子ども像」と具体的な取組
自ら考え行動し課題を解決する力 交流し協働できる力(友だちや地域)	東山田中学校 山田小学校 北山田小学校 東山田小学校	自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育てます 中学校ブロック4校の教職員の共通理解のもと、児童一人ひとりの存在をしっかりとみつけ、よきやよいを認め合い、学校内外の人とのかけがえを大切にした教育活動に取り組めます。

○学校教育目標を実現するため、笑顔にあふれ充実感のある学校づくりをめざします。  
 ・児童一人ひとりが、自己目標の達成を実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。  
 ・児童一人ひとりが、山田小学校の一員であることを自覚できるように望ましい集団生活を営んでいきます。  
 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域・関係機関と連携し、信頼・協力のある学校づくりを進めていきます。  
 ・教職員が一丸となって連携しながら個々の力を発揮し、組織を活性化し学校運営に取り組んでいきます。

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①対症的に学習が行えるよう授業をデザインし、学び合うことで課題を解決していけるようにしていく。②どの教科においてもICT機器を効果的に使用し、児童の学びの補助としていく。③自分の思いをもつための時間を確保し、そのことを示す、話す、書くなどの表現活動を大切にしていく。
豊かな心	①子どもの実態をもとに「教科書」を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。②縦割り活動や地域交流等を通して、自他を認め合う心、思いやりの心を育てる。③家庭や地域と連携し、進んで挨拶ができるように、日常的にあいさつ運動に取り組む。④人権週間を設け、授業等を通して人権意識を高める。
健やかな体	①1校1実践運動の種を使った運動を通して、全校で体力づくりに取り組む。年間を通じ、体育の授業やバウフルタイム等を活用して行う。②一人ひとりに多くの運動経験をもちせたり、よりよい生活習慣を築いたりできるように、児童運動委員会や学校保健委員会を中心に活動に取り組む。
児童生徒指導	①いじめ防止に向け、児童情報や学校のきまり、個に応じた指導について共通理解して指導にあたる。②一人ひとりが大事にされる学校づくりをするために、「Year-アセスメントシート」を活用して実態把握に努め、各学級の課題に応じた社会的スキル基盤プログラムを実施する。
特別支援教育	①療育センターや子家庭などの関係機関との連携を進め、実践的な支援・指導につなげる。②全校ICTの意識を共通理解し、実態に合った指導・環境整備についての研修など多面的な支援体制の整備を行う。③特別支援教育の推進のために、個に応じた指導の形態を工夫する。
地域連携	①生活科や総合的な学習の時間等を中心とした、地域協力者等と連携した教育活動の継続に向けて、ねらいや系統性を整理しながら教育課程の見直しをする。②学校説明会、学校づくり懇話会、懇談会等の機会や学校便り等を活用し、本校の方針や情報を発信し、地域や保護者と連携を図る。
いじめへの対応	①いじめ防止に向け児童情報や学校のきまりを職員で共通理解して指導にあたり、個に応じた指導についても職員間で共有する。②月1回、定期的に学校いじめ防止対策委員会を開催する。③いじめに関するアンケートを年2回行い、児童の様子や心情を把握する。必要に応じ教育相談も行う。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①授業研究を通して、教師の指導力を高める。②組織体制を生かして連携し、経験ある職員により日常的に若手指導を進め、メンターチームを中心とした研修を通して若手教員の教師力、実践力等の向上を図る。③学校運営組織が連携・協力しながら推進できるように体制づくりを進める。

【9年間で育てる子ども像(東山田中ブロック)】  
 自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童生徒

横浜教育ビジョン 2030  
 「自ら学び、社会とつながり ともに未来を創る人」  
 知・徳・体・公・開  
 多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進  
 第3期横浜市教育振興基本計画(H30年度～R4年度)

WITH コロナ

山田小学校の合言葉②

やくそくを  
 みんなでまもって  
 たのしいがっこう  
 コロナウイルスに  
 うちかとう!

「山田小学校 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」策定



「山田小学校 新しい生活様式」策定



ホームページ・臨時学校・学年だより等での情報発信

子どもの社会的スキル横浜プログラム「学校再開スタートP」

「新しい生活様式」等の放送朝会での一斉児童指導

